

ISO 9001
認証取得

shindaiwa®

取扱説明書

エンジン刈払機

RA220-S RA240-S RA260-S

Softスタート

注意

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、内容をよく理解したうえでご使用ください。
不適切な操作や保守は重大な事故につながるおそれがあります。
この取扱説明書はいつでも利用できるよう、大切に保管してください。

目次	頁
1. 安全にご使用いただくために	2
1-1 ご使用前に	3
1-2 キックバック	6
1-3 給油	6
1-4 始動	7
1-5 作業	8
1-6 停止	9
1-7 点検・整備	9
1-8 移動・保管	10
2. 各部名称	11
3. 組立の手順	14
3-1 外観と付属部品のチェック	14
3-2 ハンドルの取り付け	14
3-3 安全ガードの取り付け	18
3-4 スロットルケーブルの遊び調整	18
3-5 刈刃の取り付け	19
4. エンジンの始動と停止	25
4-1 燃料の給油	25
4-2 エンジンの始動	26
4-3 始動困難なとき	28
4-4 停止	29
5. 刈払い作業	30
5-1 肩掛けバンドの掛け方	30
5-2 操作の方法	31
6. 点検・整備	34
6-1 冷却風取り入れ口の掃除	34
6-2 エアクリーナーの掃除	35
6-3 キャブレターの調整	35
6-4 スパークプラグの点検	37
6-5 シリンダーフィンの掃除	38
6-6 燃料フィルターの掃除	39
6-7 ギヤケースのグリース補給	39
6-8 刈刃の目立て	41
6-9 防振ゴム類の点検	41
7. 長期保管	42
8. 故障の診断と処置	43
8-1 エンジンが始動しない場合	43
8-2 力がない場合	44
8-3 その他の故障	45
9. 主な消耗品	46
10. 仕様	47
11. 振動障害の予防	50


はじめに


新ダイワ刈払機をご購入いただきありがとうございます。この取扱説明書の「安全にご使用いただくために」を十分理解し、安全に使用してください。この取扱説明書で分からないことがありましたらお買い求めの販売店かお近くの弊社営業所にお問い合わせください。


刈払機は高速で回転する刃物で草刈りをする機械です。人的負傷、火災を予防するために安全を常に心がけてください。不注意または不適切な使用は重大な事故の原因になります。

シグナル用語の説明

この取扱説明書は次のシグナル用語を使用しています。

 **危険** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

 **警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

 **注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

1. 安全にご使用いただくために

⚠ 注意

- 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないようにしてください。
- 警告ラベルが損傷したときは、お買い求めの販売店かお近くの弊社営業所に依頼し、新しい警告ラベルに交換ください。

本製品には、下図の位置に次の警告ラベルが貼ってあります。
下記にその内容を掲載しておりますので、よく読んで十分理解した上で、表示内容を守って作業してください。

①品番19402-00090



刈払い作業時の飛散物に注意してください。

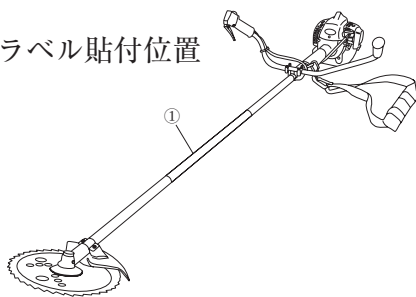
この機械を運転中は15m以内に他の人を近づけないでください。

作業中は必ず保安帽、保護メガネ、耳栓、保護マスク、手袋、長袖の保護衣、長ズボン、滑りにくい作業靴を着用してください。

この機械を運転中は常に耳栓、保護メガネ、保安帽を着用してください。

この取扱説明書をよくお読みください。

警告ラベル貼付位置




1-1 ご使用前に

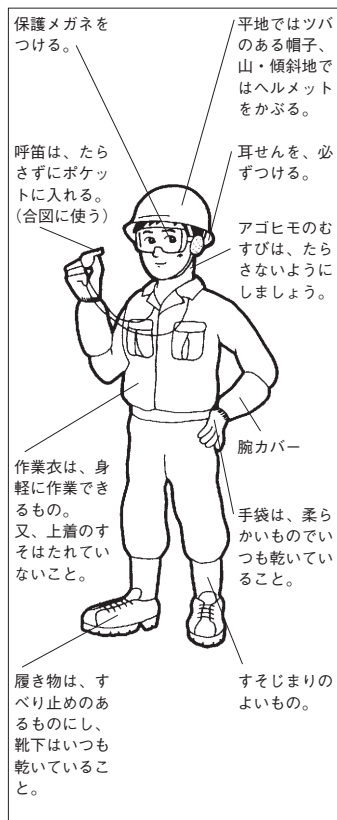
危険

- 取扱説明書を読んでいない人や年少者（子供）に刈払機を使用させないでください。
- 本機を他人に貸す時は、必ず取扱説明書を添付してください。
- はじめて刈払機を使用する方は使用方法を販売店などからよく教わり、使用方法を十分習得してから使用してください。
- 枝打ち作業など、草刈り以外の用途に使用しないでください。
- 作業する場所に適した刈刃を使用してください。
 - ・ 笹刈刃 = 笹・一般雑草
 - ・ チップソー = 一般雑草
 - ・ ナイロンカッター = 柔らかい雑草異なった用途への使用は、刈刃の破損やけがのもとになりますので、刈刃の用途をよく確認してご使用ください。
- 作業中は石、金属やプラスチックなどに刈刃を当てないでください。刈刃が破損、飛散し危険です。
- 刈刃が石などの硬いものに当たったときは、ただちにエンジンを停止し、刈刃が停止した後に、刈刃に異常がないことを確認してください。異常がある場合はただちに新しい刈刃に交換してください。
- 刈刃にひび割れ、変形、振れなどの異常がある場合は絶対に使用せず、新品と交換してください。そのまま使用すると刈刃の破損や飛散により事故やけがの原因となります。
- ガードが取扱説明書にしたがって、しっかりと取り付けられていることを確認してください。
- ガードなどの安全装置は絶対に取り外さないでください。
- 作業する場合、刈払機の15m以内に他の人や子供、動物がいないことを確認してください。誰かが近づいてきた場合は、エンジンを停止し、刈刃を止めてください。
- エンジン始動時および運転時は絶対に刈刃に手や足を近づけないでください。
- 屋内などの換気の悪い場所では、決して刈払機を運転しないでください。排気ガスにより、ガス中毒をおこします。
- 排気ガスを直接吸わないでください。

警 告

- 決して刈払機を勝手に改造しないでください。
- 疲労、病気、酒気帯びの場合、または医薬品服用中の場合は作業をおこなわないでください。また、作業中に体調が悪くなった場合にはすぐにエンジンを止め、作業を中止してください。
- 指に不快感、赤み、腫れがあり、白くなったり感覚がなくなったことのある人は、製品を使用する前に医師に相談してください。指にレイノー現象と呼ばれる症状が現れることがあります。
- 風、雨、大雪、濃霧などの悪天候のとき、または落石やなだれの恐れのある場所では、使用しないでください。
- 草刈り作業は夜間や早朝・夕方には行わず、視界のよい日中に行ってください。
- 47～49ページに指定した適用刈刃以外は使用しないでください。
- 刃物を装着する際は必要な部品をすべて組み込んでください。必要な部品を組み込まない場合には刈刃が抜け落ち、運転者や付近の人に飛んで大ケガをする危険性があります。
- 作業前に作業場所をきれいにしてください。石、ビン、カン、ワイヤーなどが飛散し大ケガをするおそれがあります。
- 厚生労働省の通達は以下の通りです。
 - ・ 1日の操作時間：「周波数補正振動加速度実行値の3軸合成値」より算出してください。50ページの「振動障害の予防」参照（最大でも2時間以内）
 - ・ 1回の連続操作時間：30分以内
 - ・ 1回の連続操作後の休止時間：5分以上
- 正しく目立てされた刈刃を使用してください。
- 混合ガソリンを使用しますので、刈払機のそばで喫煙やたき火をしないでください。火災発生のおそれがあります。

- 作業前に各部からの燃料漏れがないか確認を行い、漏れがある場合は、直ちに使用を中止してください。
- マフラーやマフラーから出る排気は非常に高温になりますので、燃えやすい物を近づけないでください。
- 作業前に刈払機の点検を行ってください。この時、破損した部品は交換し、ネジの脱落やゆるみのないことを確認してください。
- 作業中は、規格に合った保安帽を正しく着用してください。落下物や飛散物によりケガをするおそれがあります。
- 作業中は、必ず保護メガネをつけてください。
- 刈払機を運転中は、必ず耳栓を付けてください。聴覚障害をおこすおそれがあります。
- 刈払機を取り扱うときには、厚手で滑り止めのついた防振性のある手袋を着用して手を保護してください。
- 作業中は、裾のひらひらした服、アクセサリ類、ショートパンツ、サンダルなどを着用しないでください。頭髮は肩から下に垂れ下がらないように覆ってください。枝や機械の可動部にかからまる危険性があります。
- 靴は滑りにくい作業靴を使用してください。雨の日は、滑りやすいので作業をさけてください。



⚠️ 注意

- 刈刃を装着する際は必ず手袋をしてください。刈刃には鋭い刃がついています。素手でさわるとケガをします。

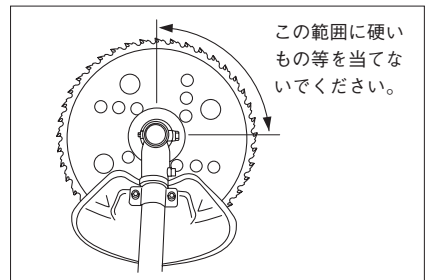
1-2 キックバック

⚠ 危険

■ キックバックは刈刃が硬い物に接触した場合におこる可能性があります。刃物が硬い物に当たった反動により、本体および運転者が激しく押し返されます。この反動をキックバックと言います。結果として運転者は刈払機をコントロールできなくなり、重大な事故につながる場合があります。切断状態がよく見えない時は注意が必要です。



■ キックバックは刈刃の先端から右側90度までの部分で起こることが多いので、この部分を硬いもの等に接触させないように使用してください。



1-3 給油

⚠ 警告

■ ガソリンと2サイクル専用オイルの混合および給油は、屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。給油はエンジンを停止し、エンジンが冷えた後にゆっくりと燃料キャップを外して行ってください。急に燃料キャップを取り外すと燃料が吹き出すことがあります。

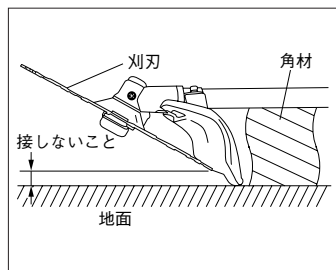
■ こぼれた燃料はウエス等で本体から拭き取ってください。また、各部からの燃料漏れがないか確認を行い、漏れがある場合は、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店かお近くの弊社営業所に修理を依頼してください。

■ 燃料の持ち運びや保管など、取扱いには十分注意してください。

1-4 始動

⚠ 危険

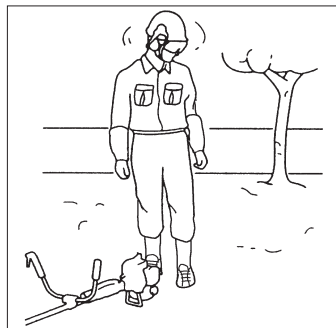
■ エンジンを始動する場合は、刈払機のアウトパイプの下に角材またはスタンド等を当て、刃を地面から浮かせてください。エンジンが始動するとすぐに刈刃が回転することがあります。



⚠ 警告

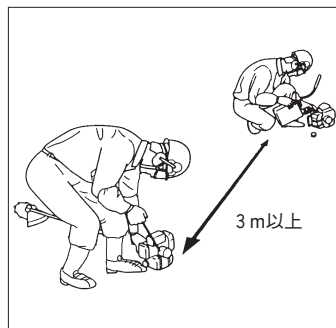
■ エンジンの始動は取扱説明書に従い、安定の良い平らな場所で行ってください。

■ 始動時は周囲の安全を確認し、一人（補助者なし）で行ってください。



■ エンジンがアイドリング時、刈刃が回転しないことを確認してください。アイドリング時、刈刃が回転すると危険です。回転する場合はアイドリング調整をして回転速度を下げてください。

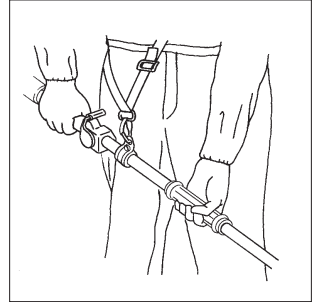
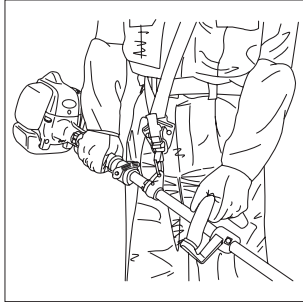
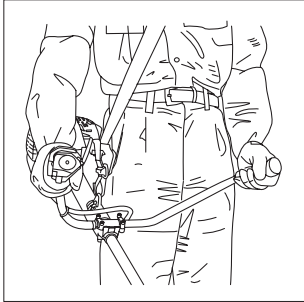
■ 漏れた燃料への引火防止のためエンジンの始動は、給油場所や燃えやすい物から3 m以上離れた場所で行ってください。



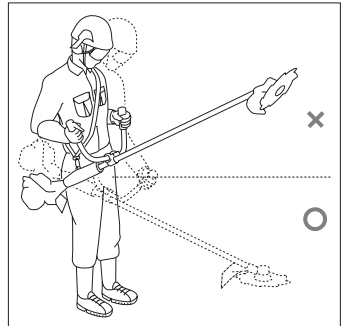
1-5 作業

警告

- 刈払機を操作するときはハンドルまたはグリップを両手でしっかりと握ってください。その他の部分を持たないでください。



- 必ず肩掛けバンド（ハーネスまたはストラップ）を使用してください。
- 刈刃を腰の高さ以上に上げないでください。
- しっかりした足場の上で安定した姿勢で作業を行ってください。
- 作業は原則として一人で行ってください。数人で作業する場合は15m以上の間隔をあけて作業してください。
- 刈払機を使用している人に近づくときはお互いに合図をおこない、エンジンを停止し、停止を確認した後に前から近づいてください。
- 刈刃に草などがはさまったり、からまった場合はエンジンを停止させ、刈刃が停止した後に、取り除いてください。
- 刈払機を落としたり、作業中に木にぶついたり、何か異物に当たったときは、エンジンを停止して損傷の有無を調べてください。もし損傷があれば使用せず、すみやかに修理してください。
- この取扱説明書の作業方法にしたがって刈払作業を行ってください。
- 燃料キャップは休憩時に増し締めしてください。運転中に振動でゆるんでいる可能性があります。



- 燃料が漏れた場合は、ただちにエンジンを停止して、ウエス等で拭き取り、火気を近づけないでください。

注 意

- 運転中または停止直後に高温部（マフラー、シリンダーなど）に触れないでください。ヤケドをします。
- 運転中は高電圧部（プラグキャップ、プラグコードなど）に触れないでください。感電するおそれがあります。

1-6 停止

警 告

- エンジン停止後、あるいはスロットルレバーを戻した後も、刈刃はしばらく回転し危険です。エンジンを停止したときには、刈刃が停止するのを待って、停止を確認した後に刈払機を地面に置いてください。

1-7 点検・整備

危 険

- 点検・整備（刈刃交換、掃除など）を行うときは必ずエンジンを停止し、刈刃が停止していることを確認してから行ってください。

警 告

- ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のない所で行ってください。
- 燃料キャップ、燃料タンク、燃料パイプおよびキャブレターなどから燃料漏れがないか定期的に確認してください。漏れがある場合は、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店かお近くの弊社営業所に修理を依頼してください。
- 整備と修理を行うときは新ダイワ純正部品を使用してください。他社の部品を使用すると重大な事故になる危険性があります。

- 取扱説明書に記述がない整備や修理は行わないでください。記述のない整備や修理はお買い求めの販売店かお近くの弊社営業所に依頼してください。

注 意

- 点検・整備・掃除などはエンジンが冷えてから行ってください。ヤケドのおそれがあります。

1-8 移動・保管

警 告

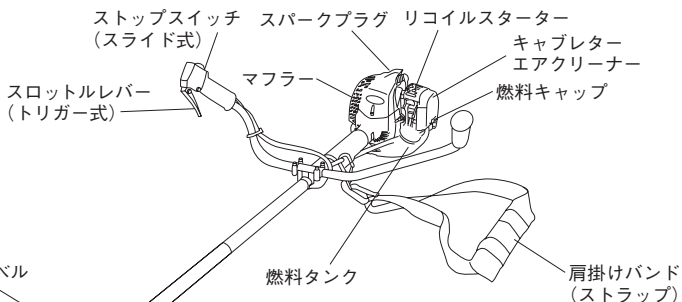
- 移動時あるいは保管時にはエンジンを停止してください。また、刈刃にカバーをしてください。

注 意

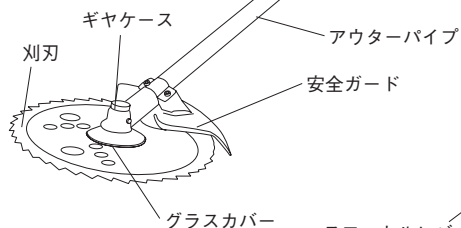
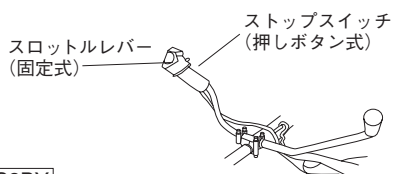
- 保管の際は、燃料漏れ、破損、ケガなどを防止するために、刈払機を転倒しないように安定した場所に置いてください。
- 年少者（子供）の手が届かない乾燥した冷暗所に保管してください。
- 2～3日以上保管する場合は燃料タンク内およびキャブレター内の燃料を空にしてください。

2. 各部名称

RA220-SUAY



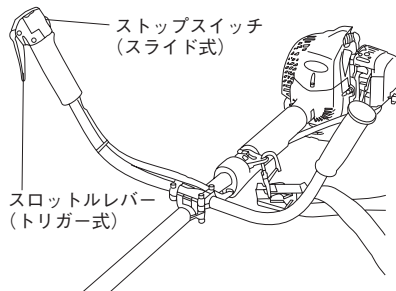
RA220-SUBY



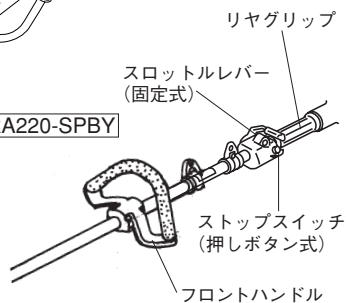
RA220-S2BY



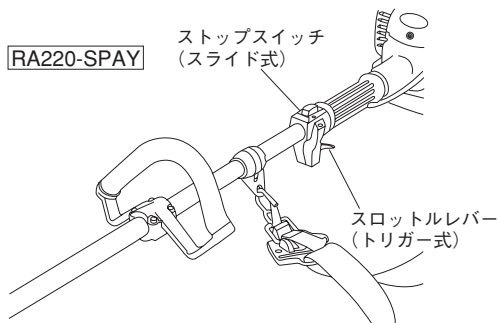
RA220-S2AY



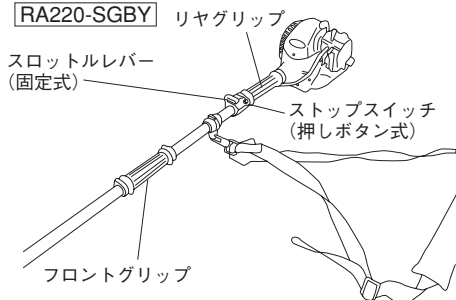
RA220-SPBY



RA220-SPAY



RA220-SGBY



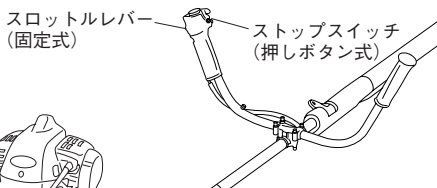
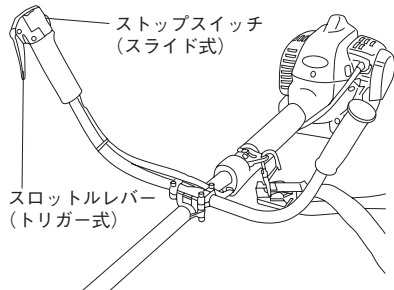
2. 各部名称

RA240-SUAY RA260-SUAY

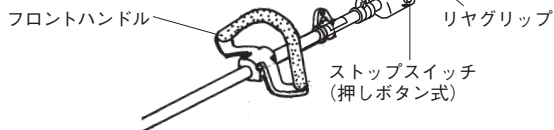


RA240-S2BY RA260-S2BY

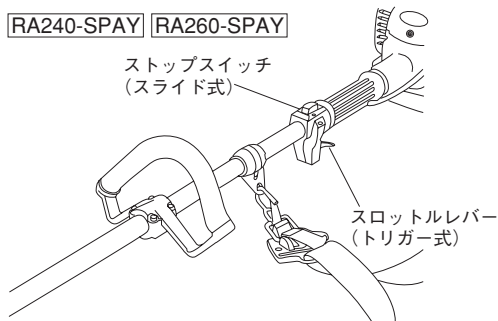
RA240-S2AY RA260-S2AY



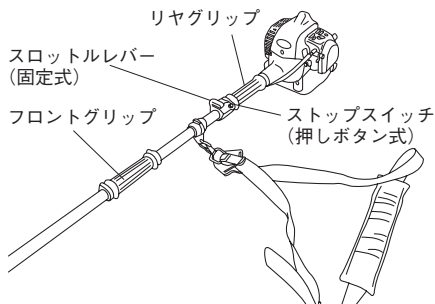
RA240-SPBY RA240-SPBY



RA240-SPAY RA260-SPAY



RA240-SGBY RA260-SGBY



No.	名 称	機 能
1	刈刃	刃のついた金属製円盤です。雑草を切断します。
2	安全ガード	飛散物から運転者を守ります。
3	ギヤケース	エンジンの回転速度を減速して刈刃を回転させます。
4	アウターパイプ	エンジンの回転力を刈刃に伝える伝動軸が中に通っており、刈刃を操作するためのさおとなります。
5	号機ラベル	製品の型式名および号機番号を示します。
6	警告ラベル	警告指示事項を示します。
7	ハンガー	刈払機を肩掛けバンド（ストラップ）につるすつり具です。
8	肩掛けバンド （ストラップ）	刈払機を肩からつり下げるために使用するバンドです。
9	スロットルレバー	エンジンの回転速度を調整するために使用します。
10	スパークプラグ	火花で混合気に点火するための部品です。
11	マフラー	排気音を減少させます。
12	リコイルスターター	ロープを引いてエンジンを始動します。
13	燃料キャップ	燃料タンクのふたです。
14	エアクリーナー	エンジンが吸入する空気中のゴミを取り除きます。
15	キャブレター	燃料と空気を混合します。
16	チョーク	冷えているエンジンを始動しやすくします。
17	停止（ストップ） スイッチ	エンジンを停止するスイッチです。
18	燃料タンク	燃料を入れる容器です。

3. 組立の手順

3-1 外観と付属部品のチェック

製品は工場出荷の際、厳重な検査を行っておりますが、念のために製品の損傷、ボルト、ナット類のゆるみなどが点検してください。また、付属部品の欠品がないか点検してください。

もし、点検の結果、異常や欠品があった場合はただちにお買い求めの販売店かお近くの弊社営業所へご連絡ください。

付属部品

ストラップ、安全ガード（機械に仮止めしてあります。）

刈刃用ポリバッグ、プラグレンチ、六角レンチ（M4用、M5用）

チップソー（RA220-S：φ230、RA240-S・RA260-S：φ255）、

刈刃カバー、ゴーグル、取扱説明書（保証書）

▲ 注意

- ボルトは必ず付属の工具を使用し、手で締め付けてください。

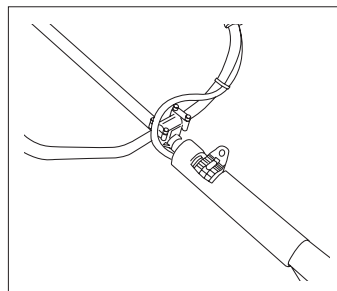
3-2 ハンドルの取り付け

▲ 警告

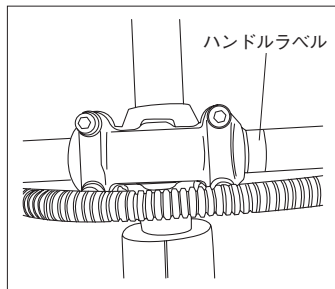
- ハンドルは必ず取り付けて使用してください。ハンドルを取り付けずに使用すると重大な事故の原因となります。

3-2-1 一体非対称両手ハンドル仕様（-SUAY）

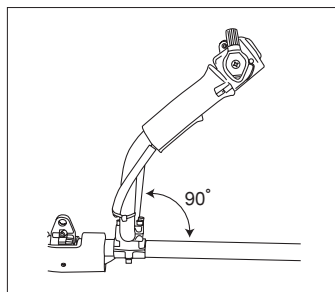
- ① アップキャップ取付用ボルト4本をゆるめ、アップキャップを取り外してください。



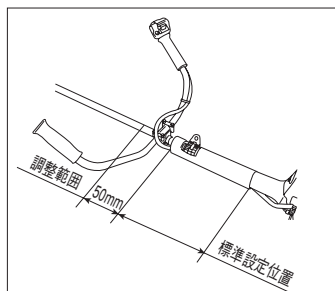
- ②スロットルケーブルがアッパキャップの上を通り、スロットルレバーが作業状態（右側）になるように取り付けてください。（ハンドル取付ラベルとアッパキャップ端面を合わせてください。）



- ③ハンドルを使いやすい角度にして、ボルト4本を確実に締め付けてください。（ヒント：調整が難しいときはアウトパイプとハンドルの付け根が垂直になるように取り付けてください。ほとんどの人はこの取り付け位置で楽に使用することができます。）



- ④ブラケットの下のボルト2本をゆるめ、ハンドルを使いやすい位置に変えることができます。
ハンドル位置を変える場合は、標準設定位置から50mmの調整範囲で行ってください。



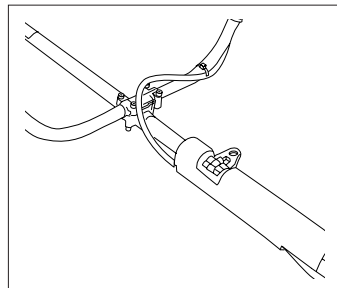
⚠ 危険

- ハンドル位置は調整範囲内で使用してください。調整範囲を超えるとスロットルケーブルが引っ張られ、始動時に刈刃が急にまわりだすおそれがあり危険です。

3-2-2 分割非対称両手ハンドル仕様（-SUBY） 分割対称両手ハンドル仕様（-S2）

- ①アッパキャップ取付用ボルト4本をゆるめ、アッパキャップを取り外してください。
- ②スロットルケーブルがアッパキャップの上を通り、スロットルレバーを取り付けてあるハンドルが作業状態（右側）になるように取り付けてください。（ハンドルの突起とブラケット側の溝を合わせてください。）

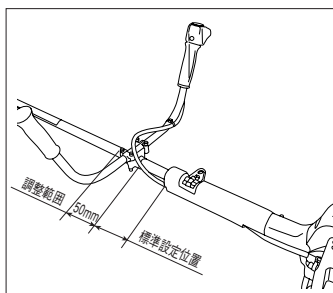
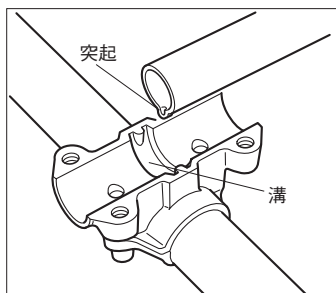
同様に左側のハンドルも取り付けてください。



⚠ 注意

■ ハンドルの突起とブラケット側の溝を合せないでボルトを締め付けるとブラケットが破損するおそれがあります。

- ③ ハンドルを使いやすい角度にして、ボルト 4 本を確実に締め付けてください。
- ④ ブラケットの下のボルト 2 本をゆるめ、ハンドルを使いやすい位置に変えることができます。
ハンドル位置を変える場合は、標準設定位置から 50mm の調整範囲で行ってください。

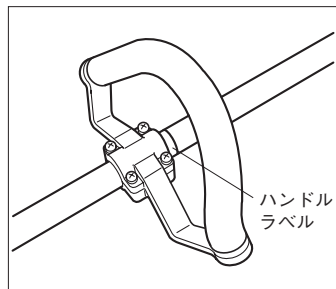


⚠ 危険

■ ハンドル位置は調整範囲内で使用してください。調整範囲を超えるとスロットルケーブルが引っ張られ、始動時に刈刃が急にまわりだすおそれがあり危険です。

3-2-3 片手ハンドル仕様 (-SP)

- ①出荷時にハンドルは正しい位置に取り付けられていませんので、ハンドルを正しい位置に変更する必要があります。
- ②はじめにハンドルを固定している4つのスクリューをゆるめ、ハンドル取り付けラベルの位置に合わせ直してください。その位置で使いにくい場合は、使いやすい位置に調整してください。
- ③ハンドルは、エンジン本体およびギヤケース (刈刃) に対し水平になるように調整した後、スクリューを確実に締め付けてください。

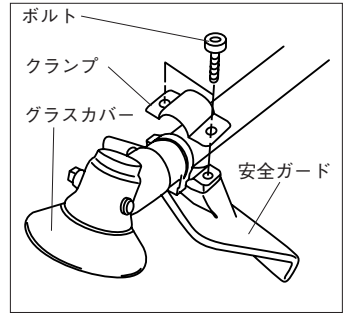


3-3 安全ガードの取り付け

警告

- 安全ガードは必ず取り付けて使用してください。安全ガードを取り外したり、正しい位置に取り付けないで作業すると飛散物により、重大な事故につながる危険性があります。

- ①出荷時に安全ガードは正しい位置に取り付けられていませんので、下記の手順に従って安全ガードを正しい位置に変更してください。
- ②はじめに安全ガードを固定しているボルト2本をゆるめます。
- ③安全ガードを回転させギヤケースと水平にした後、ギヤケースをガードではさむ位置で、ボルトを確実に締め付けてください。



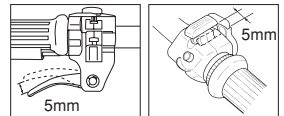
注意

- 安全ガードに「ガタ」がないか確認してください。

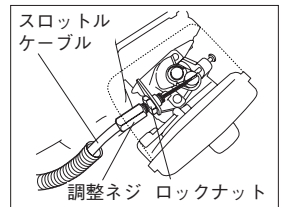
3-4 スロットルケーブルの遊び調整

スロットルケーブルの遊びは、工場出荷時に調整してありますが、長時間使用すると伸びる場合があります。必要に応じて下記の要領で調整してください。

- ①スロットルレバーを軽く動かし、スロットルレバー先端の遊びが5mm程度あるかどうか確認してください。
- ②調整方法は、スロットルケーブルのロックナットをゆるめ、調整ネジを回し遊びの距離を調整してください。



調整ネジを— 時計方向にまわすと→遊びが長くなる。
— 反時計方向にまわすと→遊びが短くなる。



- ③スロットルレバーの先端の遊びを5mm程度に調整した後、ロックナットを締め付けて調整ネジを固定してください。

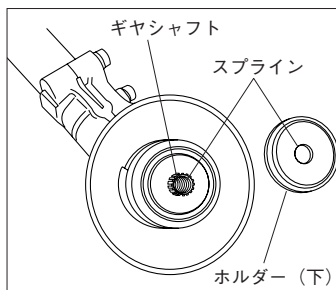
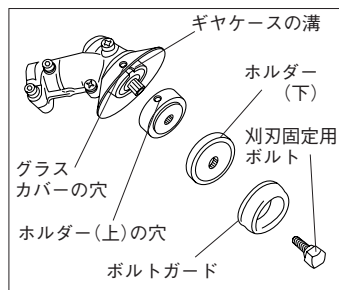
3-5 刈刃の取り付け

3-5-1 金属刃の取り付け

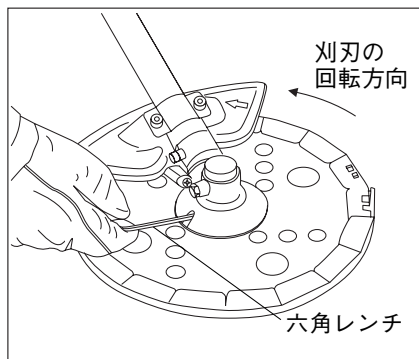


- エンジンが停止していることを確認してください。
- 刈刃の回転方向と、刈刃の矢印の方向を合わせて取り付けてください。

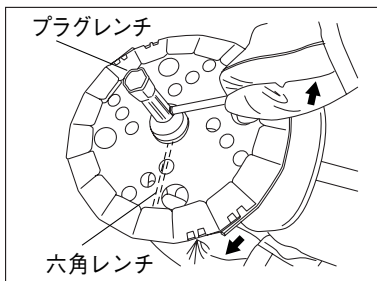
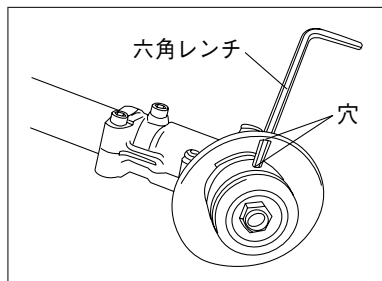
- ① 刈刃の回転方向はギヤケース側から刈刃を見て反時計回りです。
- ② 刈刃固定用ボルト（左ネジ）を付属のプラグレンチで時計方向に回し、刈刃固定用ボルト、ボルトガード、ホルダー（下）を取り外してください。
- ③ 刈刃をホルダー（上）の凸部に取り付けてください。



- ④ ホルダー（下）をギヤシャフトのスプライン溝に合わせながら、刈刃に確実に密着するように取り付けて、ボルトガード、刈刃固定用ボルトを手で締めてください。
- ⑤ ホルダー（下）を手でゆっくり回し、ガラスカバーの穴、ホルダー（上）の穴、そしてギヤケースの溝を合わせて、付属の六角レンチ（M5用）をさし込み、ホルダーが回らないことを確認してください。ホルダーが回る場合はギヤケースの溝に六角レンチが入っていないため、ホルダー（下）を回しながら穴位置を合わせてください。



- ⑥六角レンチを左手でしっかりと押さえながら、刈刃固定用ボルトを付属のプラグレンチで反時計方向に回し、確実に刈刃を締め付けてください。
- ⑦刈刃の取り付け後、必ず刈刃が確実に取り付けられていることを確認してください。



⚠ 危険

- 刈刃の穴がホルダー（上）に正しく入っていなかったり、締め付けが不十分な場合、運転中に刈刃が外れて飛び出し、重大な事故の原因となります。

- ⑧軽く手で刈刃を回し、異常な振動または刈刃のぶれがないか確認してください。刈刃にぶれがある場合刈刃の穴がホルダー（上）にきちんと入っていないので、②～⑦の手順に従って取り付け直してください。

⚠ 注意

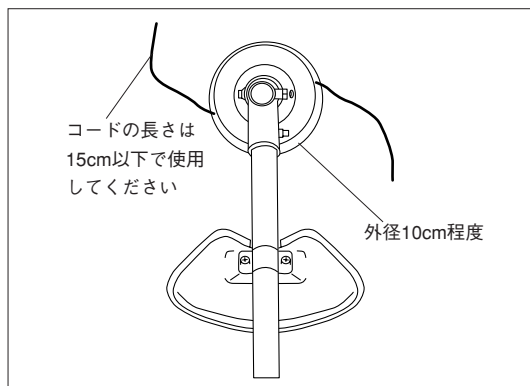
- 刈刃の取り付けは必ず付属のプラグレンチを使用し、手で締め付けてください。

⚠ 危険

- カッター本体を地面などに接触させながら、草刈り作業を行わないでください。
- カッター本体が摩耗し、部品が飛散し、けがや事故の原因となり危険です。

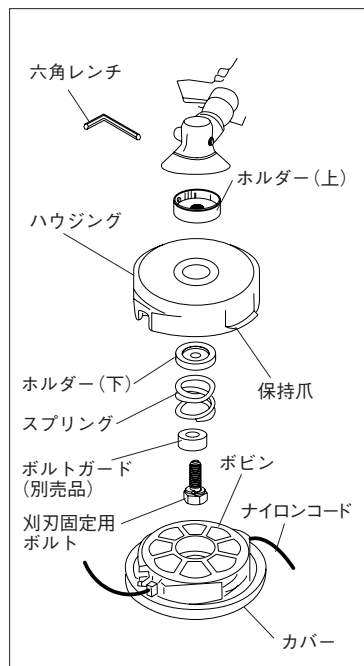
⚠ 注意

- ナイロンカッターの取り付けは必ず付属のプラグレンチを使用し、手で締め付けてください。
- ナイロンカッターの種類によっては、ご使用時に製品に付属しているボルトガードを別売品のボルトガード（品番22035-13290）に交換する必要があります。
お買い求めの販売店かお近くの弊社営業所にご用命ください。
- ナイロンカッターは金属刃より抵抗が大きいため、取扱い操作を誤るとクラッチ部分が損傷することがあります。
ご使用時は次の点をお守りください。
 - ・ ナイロンカッターは純正品をお使いください。市販品をお使いになる場合は本体の径が小さく（外径10cm程度）、軽いものにしてください。
 - ・ ナイロンコードの長さは15cm以下で使用してください。ナイロンコードの径はφ2.4が適切です。
 - ・ 作業はアクセルを全開にして、ご使用ください。



(ボルト取り付けタイプの場合)

- ① 刈刃固定用ボルト（左ネジ）を付属のプラグレンチで時計方向に回し、刈刃固定用ボルト、ボルトガード、ホルダー（下）を取り外してください。
- ② ナイロンカッターのハウジング部の保持爪を指で押しながらカバーを取り外してください。
- ③ ナイロンコードが巻き込まれたボビンはカバーにつけたままにしてください。
- ④ ハウジングをホルダー（上）にのせてください。
- ⑤ ハウジングの内側からナイロンカッターに同梱してあるホルダーと別売品のボルトガード（品番22035-13290）を取り付け、刈刃固定用ボルトを手で締めてください。
- ⑥ 六角レンチで回り止めをして、刈刃固定用ボルトを付属のプラグレンチで反時計方向に回し、確実に締め付けてください。
- ⑦ カバーを元通りハウジングに取り付け、保持爪がカバーの溝に完全にかかっていることを確かめてください。



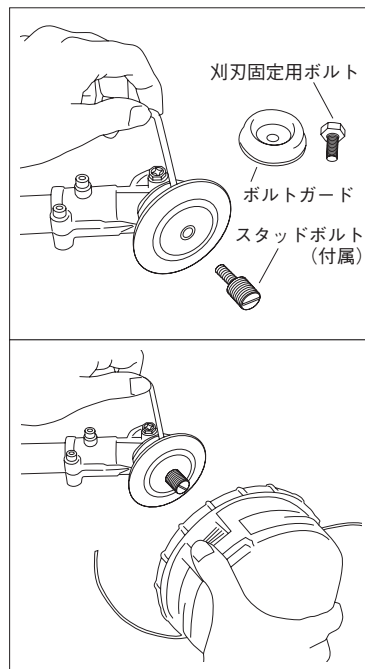
警告

- ハウジングの穴がホルダー（上）に正しく入っていなかったり、締め付けが不十分な場合、運転中にナイロンカッターが外れて飛散し、重大な事故の原因になります。

- ⑧ 軽く手でナイロンカッターを回し、ナイロンカッターにぶれがないか確認してください。
ナイロンカッターにぶれがある場合はハウジングの穴がホルダー（上）にきちんと入っていないので、①～⑦の手順に従って取り付け直ししてください。
- ⑨ 刈払機に付属していたホルダー（下）、ボルトガードは金属刃使用時に必要となりますので、紛失しないよう保管してください。

(スタッドボルト取り付けタイプの場合)

- ①刈払機本体より、刈刃固定用ボルト、ボルトガードを取り外してください。
- ②付属のスタッドボルトの中でギヤケースのシャフト径に合うものを選び、工具でしっかりと反時計方向に回し締め込んでください。
- ③ナイロンカッターを手でしっかりと反時計方向に回し、確実に締め込んでください。



⚠ 注意

- 部品は正しく取付けてください。

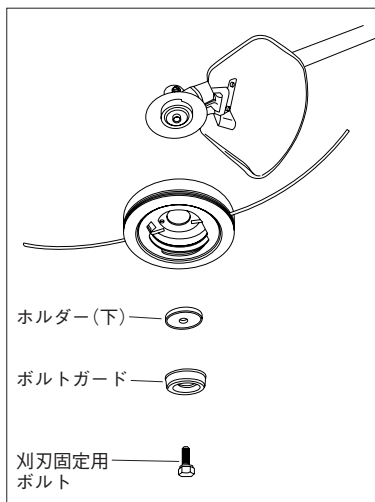
⚠ 警告

- スタッドボルト、ナイロンカッターはしっかりと締付けてください。締め付けが不十分な場合、運転中にナイロンカッターが外れて飛散し、重大な事故の原因になります。

- ④刈払機に付属していたボルトガード、刈刃固定用ボルトは金属刃使用時に必要となりますので、紛失しないよう保管してください。

(RA220-S指定ナイロンカッターの場合)

- ① 刈刃固定用ボルト（左ネジ）を付属のプラグレンチで時計方向に回し、刈刃固定用ボルト、ボルトガード、ホルダー（下）を取り外してください。
- ② ナイロンカッターの穴部をホルダー（上）の凸部に取り付けてください。
- ③ ホルダー（下）、ボルトガードを取り付け、刈刃固定用ボルトを手で反時計方向に締めてください。
- ④ 付属の六角レンチ（M5用）で回り止めをして、刈刃固定用ボルトを付属のプラグレンチで反時計方向に回し確実に締め付けてください。
- ⑤ ナイロンカッターの取り付け後、必ずナイロンカッターが確実に取り付けられていることを確認してください。



警告

- ナイロンカッターの穴がホルダー（上）に正しく入っていなかったり、締め付けが不十分な場合、運転中にナイロンカッターが外れて飛散し、重大な事故の原因になります。

- ⑥ 軽く手でナイロンカッターを回し、ナイロンカッターにぶれがないか確認してください。ナイロンカッターにぶれがある場合はナイロンカッターの穴がホルダー（上）にきちんと入っていないので、①～⑤の手順に従って取り付け直してください。

4. エンジンの始動と停止

4-1 燃料の給油



- 給油は屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。
- 平らな場所で給油してください。

4-1-1 燃料

燃料は必ず、無鉛ガソリン（レギュラーガソリン）と2サイクルエンジンオイルを混合した混合燃料を使用してください。

燃料の混合は安全容器に2サイクルエンジンオイルを先に入れ、後からガソリンを加えてください。

新ダイワ純正2サイクルエンジンオイルの場合は50：1、その他2サイクルエンジンオイルの場合は25：1の割合で混合した混合燃料を使用してください。

ガソリン (L)	2サイクルエンジンオイル (ml)	
	50：1	25：1
1	20	40
4	80	160
8	160	320



- 正しい混合比の燃料を使わないと、適正な性能が出なかったり、エンジンの焼き付きの原因となります。

4-1-2 給油



- 燃料の給油はエンジンを停止して、エンジンが冷えてから行ってください。

注 意

- 異物やゴミをタンク内に入れないために、キャップを外す前に燃料キャップやそのまわりをよく掃除してください。
- 常に新しい燃料を使用してください。2～3か月以上保存した燃料、異物が混入した燃料を使用すると故障の原因となります。
- 燃料タンクに直接燃料を入れて混合することは絶対にしないでください。焼き付きや故障の原因になります。

- ①給油する前に燃料をよく混合してください。
- ②燃料タンクの燃料キャップはゆっくりと外し、燃料を給油してください。
- ③給油後は確実にキャップを締め、燃料タンクから燃料漏れのないことを確認してください。

4-2 エンジンの始動

危 険

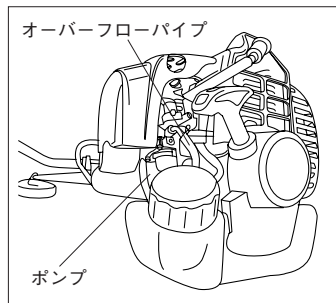
- エンジンを始動するとき、刈刃が地面や他の物体に接触していないことを確認してください。また、そばに他の人がいないことを確認してください。始動後すぐに刈刃が回転し危険です。


注 意

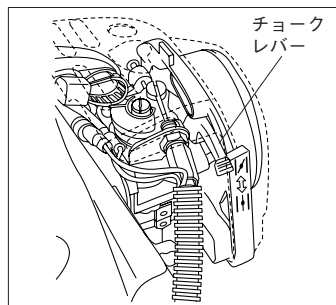
- 始動時にリコイルスターターのロープを最後まで引かないでください。ロープの寿命が短くなります。
- リコイルスターターのロープを急に離さないでください。正しく巻き込まれないことがあります。

4-2-1 エンジンが冷えている時、または燃料切れで燃料を給油した時

- ①スライドスイッチの場合「運転・START」位置にしてください。
- ②キャブレターの下部のポンプを数回押し、オーバーフローパイプから燃料が流れ出ることを確認してください。（この時、燃料の泡がなくなるまでポンプを押ししてください。）

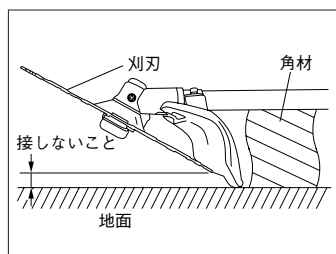


- ③チョークレバーをチョーク || の方向に引き上げてください。

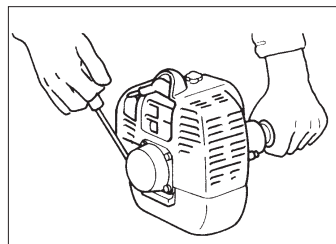


- ④刈刃が地面から離れているのを確認してください。

刈払機のアウタパイプの下に角材またはスタンド等を当て、刃を地面から浮かせてください。



- ⑤刈払機を足場のしっかりした平地に置き、図のように左手でエンジンを押さえて、リコイルスターターを引いてください。つめがかかるまではゆっくり引き、かかって重くなった位置から強く引いてください。爆発音がしてすぐに停止した場合はチョークレバーを戻して再度リコイルスターターを引いて始動してください。



注 意

- チョークレバーを上げて始動するとき、爆発音がしたら、必ずチョークレバーを戻して再始動して下さい。チョークレバーを戻さないで燃料の吸い込みすぎになり、始動ができなくなります。

- ⑥ エンジンが始動したら、チョークレバーをチョーク |↑| の方向に戻してください。チョークレバーを戻す前に停止した場合は、チョークレバーをチョーク |↑| の方向に戻して再始動してください。
- ⑦ 始動したら、低速回転のまま 1～2 分間暖機運転をしてください。

4-2-2 エンジンが暖まっている時

- ①-④-⑤-⑦ の順序で始動してください。

始動しない場合は、4-2-1 エンジンが冷えているとき、と同じ順序で始動してください。

4-3 始動困難なとき

始動困難なとき、シリンダ内に燃料が入りすぎた可能性があります。次の操作をおこなってください。

- ① プラグキャップを取り外します。
- ② スパークプラグを付属のプラグレンチで取り外し、スパークプラグの電極部が濡れていないか調べてください。
- ③ スパークプラグが濡れている場合は、スパークプラグについての燃料をウエス等でふき取り乾燥させてください。
- ④ スパークプラグをプラグキャップから外していることを確認し、ウエス等をシリンダのプラグ穴にかぶせて、リコイルスタータを数回引き、空転させて燃料をシリンダ内から出してください。

警 告

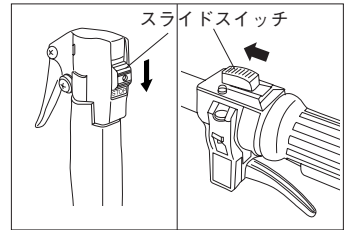
- 火気を近づけないでください。火災の原因になります。
- プラグをシリンダから外してリコイルを引くときは、プラグをプラグキャップから外してください。外していない場合、リコイルを引いたときにプラグから火花が出て、火災の原因になります。

- ⑤スパークプラグを付属のプラグレンチで確実に取り付け、プラグキャップを取り付けます。エンジンが暖まっている時の方法で始動してください。
- ⑥スパークプラグが濡れておらず始動しない場合は燃料タンクから燃料が届いていないので、燃料フィルターやキャブレターを点検する必要があります。6-5項の点検をするか、またはお買い求めの販売店かお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

4-4 停止

4-4-1 トリガ式スロットルレバーにスライド式停止スイッチが ついた製品 (-SUAY、-S2AY、-SPAY)

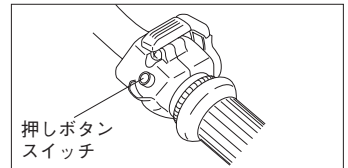
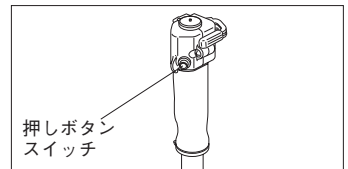
- ①スロットルレバーから手を離してエンジンをアイドリング回転速度に戻してください。
- ②スロットルレバー上のスライドスイッチを右図のように「STOP」側へ倒してください。



4-4-2 固定式スロットルレバーに押しボタン式停止スイッチが ついた製品

(-SUBY、-S2BY、-SPBY、-SGBY)

- ①スロットルレバーを上方もしくは前方に戻してエンジンをアイドリング回転速度に戻してください。
- ②押しボタンスイッチをエンジンが停止するまで押し続けてください。



5. 刈払い作業

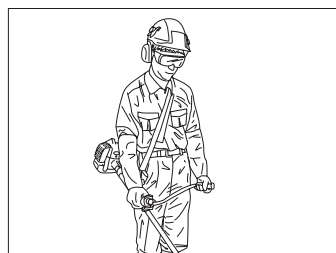
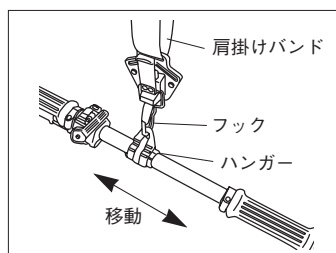
警告

- 作業時は必ず肩掛けバンドを使用してください。
- 刈払機を運転中は常に耳栓、保護メガネ、保安帽を着用してください。

5-1 肩掛けバンドの掛け方

5-1-1 肩掛けバンドの掛け方

- ① 肩掛けバンドを頭から通し、フックが身体の右側にくるように掛けてください。
- ② アウターパイプに取り付けてあるハンガーの穴に肩掛けバンドのフックを取り付けてください。
- ③ 刈刃が地上から数センチの高さになるように、肩掛けバンドとハンガーの位置を調整してください。
ハンガーを前後に移動させ、バランスがよいところを見つけてください。ハンガーを動かして刈刃と安全ガードが決められた高さになるように調整してください。
- ④ バランスと高さの調整にはハンガーの位置と肩掛けバンドの再調整が必要です。刈刃と安全ガードを取り付けた状態でバランスを調整してください。



重要

- 作業者の身体の大きさがバランス調整に影響します。したがって、機種や人によってはバランスがとれないことがあります。バランス調整ができないときは、お買い求めの販売店かお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

⚠ 危険

- この刈払機はさまざまな身体のサイズに合うように設計されていますが、極端に背の高い人には合わないことがあります。
- 作業者が機械を肩掛けバンドにつり下げたとき、刈刃に足がとどく場合は使用しないでください。

5-1-2 緊急離脱付き肩掛けバンドの操作方法

⚠ 注意

- 緊急離脱の操作を行う場合は、必ず刈払機を支えながら操作してください。刈払機を支えずに緊急離脱の操作を行うと刈払機が落下します。

緊急の場合は、緊急離脱つまみを上方に強く引くと刈払機は身体から離れます。



5-2 操作の方法

⚠ 危険

- 作業中は半径15m以内に他の人を近づけないように注意してください。切りくずや破片などが飛散し大ケガをする恐れがあります。

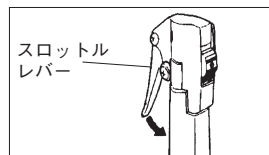
⚠ 注意

- 雑草を切らない状態でスロットルレバーをいっぱいにつまみで引かないでください。エンジンは空ぶかし（無負荷高速運転）になり、エンジンやシャフトを破損させる原因となります。
- クラッチがつながって刈刃が回転していても、低速にしすぎると共振現象による振動、異音を感じることがあります。この状態で作業をおこなうと、クラッチの摩耗が早くなります。また、草なども巻き付きやすいので、回転を上げて使用してください。

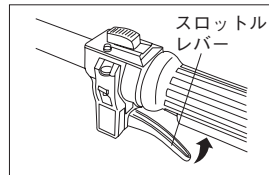
5-2-1 トリガ式スロットルレバーのついた製品

(-SUAY、-S2AY、-SPAY)

- ①エンジン始動後、スロットルレバーを握るとエンジンの回転速度が上がり、刈刃が回り始めます。作業に適した回転速度が得られるように握りを加減して合わせてください。



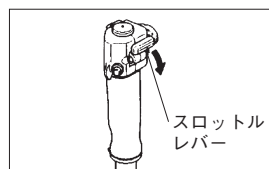
- ②スロットルレバーから手を離すとエンジンの回転速度が下がり、アイドリング回転速度に戻ります。



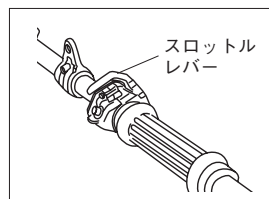
5-2-2 固定式スロットルレバーのついた製品

(-SUBY、-S2BY、-SPBY、-SGBY)

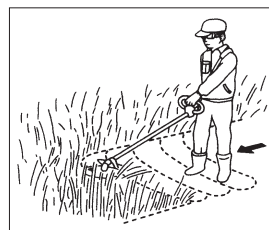
- ①エンジン始動後、親指でスロットルレバーを下方もしくは後方に移動させるとエンジンの回転速度が上がり、刈刃が回り始めます。作業に適した回転速度が得られる位置に合わせてください。



- ②スロットルレバーを上方もしくは前方に戻すとエンジンの回転速度が下がり、アイドリング回転速度に戻ります。



刈刃は反時計方向に回りますので、右側から左側に寄せるように刈ると能率的です。刈り取った草は左側に寄せられるので広い面積を刈るときには左側から前進すると刈り取った草が次の列を刈るときにじゃまならず、能率的に作業ができます。



 **注 意**

炎天下での作業後、再始動しにくいときは、次のようにしてください。

- 休息時や燃料補給時は、刈払機を炎天下（直接日のあたるところ）に置かずに日陰で風通しのよいところに置いてください。炎天下に置くと燃料タンク内の燃料が熱くなり、エンジンが始動しにくくなります。
- 休息後エンジンが始動しにくいときは、15分ぐらい日陰で風通しのよいところに置いてから始動してください。キャブレターの下部のポンプを押して、ガソリンをキャブレターに入れてください。何回も繰り返すとさらに始動しやすくなります。

6. 点検・整備

危険

- 点検、整備は必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。

警告

- ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のないところで行ってください。

点検・整備表

項目		始動前	毎月	その他
スクリュー、ナット	点検、増締	○		
燃料キャップ、燃料タンク 燃料パイプ	漏れ点検	○		
冷却風取り入れ口の掃除	掃除	○		
エアクリーナー	掃除	○		
キャブレター	調整			必要な場合
スパークプラグ	点検、掃除 交換		○	必要な場合 100時間ごと
マフラー	掃除		○	
シリンダーフィン	掃除		○	
燃料フィルター	点検		○	汚れている場合は交換
ブリーザー	掃除 交換		○	2年ごと
ギヤケース	グリース補給			50時間ごと
防振ゴム類	点検、交換	○		

注意

- 振動障害を防止するために防振ゴムや防振スプリングは、製品のご使用前後に摩耗、亀裂、変形がないか点検してください。
- 100時間毎、または異常がある場合や、通常より振動が増えたと感じた場合には、お買い求めの販売店で点検をしてください。

6-1 冷却風取り入れ口の掃除

冷却風取り入れ口の草やほりによるつまりは、冷却風不足によりエンジンの出力低下、過熱、焼き付きの原因となります。

付属のプラグレンチ等で冷却風取り入れ口に付着している草やほこりを外側に取り除いてください。

掃除にはエアコンプレッサ等を使用しないでください。エア等によりファンカバー内部に草やほこりを吹き飛ばすと、シリンダフィン等に付着しエンジンの過熱、焼き付きの原因となります。



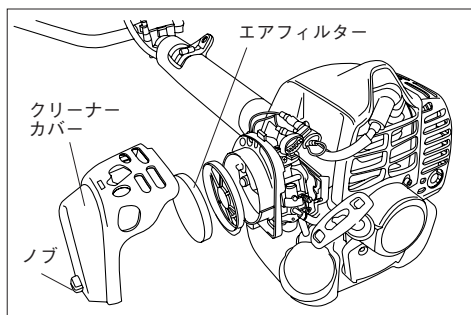
6-2 エアクリーナーの掃除

エアフィルターにゴミが詰まるとエンジンの回転が落ち、作業の効率が悪くなります。

⚠ 注意

- エアフィルターは、傷が付いた場合や取り外したままでは絶対にエンジンを運転しないでください。ホコリやゴミなどによりエンジンが故障します。

- ① クリーナーカバーのノブをゆるめてクリーナーカバーを取り外してください。
- ② エアフィルターを取り出してください。
- ③ エアフィルターを軽くたたいてホコリやゴミを取り除くか適切な洗浄剤でよく洗い、乾かしてから取り付けてください。傷ついたフィルターは新品と交換してください。
- ④ クリーナーカバーを元通りに取り付けてください。



6-3 キャブレターの調整

キャブレターは工場出荷時に調整してありますので、調整の必要はありません。気圧、気候、燃料の違い、10時間以上の使用による状態変化などにより、調整が必要になったときにのみ行ってください。

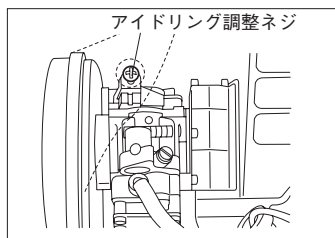
エンジンを始動し、2～3分間の暖機運転の後、次の手順で調整してください。また、エアクリーナーが汚れている場合は掃除してから行ってください。

⚠ 危険

■ 刈刃の周辺に人または干渉物がないことを確認して行ってください。アイドリングの回転調整時には刈刃が回転します。

6-3-1 アイドリングの調整

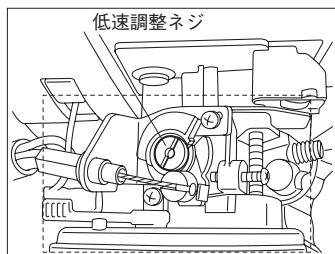
アイドリング時には刈刃が回転しないようにアイドリング調整ネジでエンジンの回転を下げます。また、エンジンが安定して回転するようにアイドリングを調整してください。



アイドリング調整ネジ — 時計方向にまわすと → 回転が上がる。
 — 反時計方向にまわすと → 回転が下がる。

6-3-2 低速と高速の調整

標準開度は、調整ネジを静かにいっぱい締め込んだところからの戻し回数です。(RA220-Sの場合はφ230mm、RA240-S・RA260-Sの場合はφ255mmの刈刃を付けた状態でエンジン回転速度が11000min⁻¹{rpm}を目安に調整してください。)

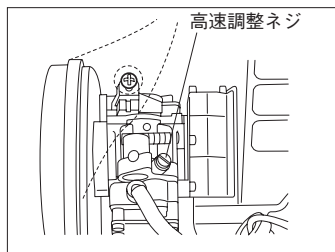


(RA220-Sの場合)

標準開度	低速調整ネジ	1 ± 1/4 回戻し
	高速調整ネジ	1 · 5/8 ± 1/4 回戻し

(RA240-S・RA260-Sの場合)

標準開度	低速調整ネジ	1 ± 1/4 回戻し
	高速調整ネジ	1 · 3/8 ± 1/4 回戻し



⚠ 注意

- 空ぶかし（無負荷高速運転）をするとエンジンの回転が上がりすぎ、焼き付くおそれがありますので、空ぶかしはしないでください。
- 低速、高速の調整は難しいため、エンジン回転の不調がある場合はお買い求めの販売店かお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

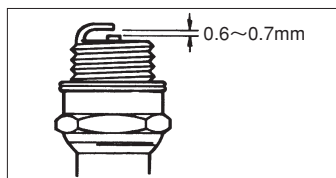
6-4 スパークプラグの点検

⚠ 注意

- スパークプラグを取り外す時は、前もってスパークプラグとシリンダーヘッド部を掃除し、泥や砂などをシリンダー内に入れてないようにしてください。
- スパークプラグを取り外す時は、必ずエンジンが冷えてから行なってください。シリンダーのネジ穴をいためます。
- スパークプラグは正しく取り付けてください。斜めに取り付けるとシリンダーのネジ穴をいためます。

エンジンが始動しにくくなったり、アイドリングが不安定になった場合は、まずスパークプラグを点検してください。

- ① プラグキャップを外し、スパークプラグを付属のプラグレンチで取り外してください。
- ② ワイヤブラシでスパークプラグの汚れを落としてください。必要であれば電極のすきまを調整をしてください。正しいすきまは0.6~0.7mmです。
- ③ スパークプラグを手で締め付け、その後プラグレンチでしっかりと締め付けます。プラグキャップをしっかりと奥まで取り付けてください。



⚠ 注意

- 約100時間運転後、または電極の腐食がひどい場合はスパークプラグを交換してください。
- スパークプラグはチャンピオンCJ8Yをご使用ください。

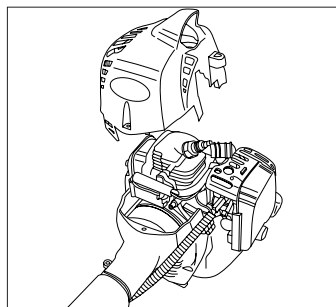
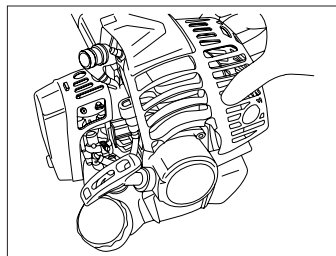
6-5 シリンダーフィンの掃除



- シリンダーフィンの汚れや草のつまりはエンジンの過熱、焼き付きや火災の原因となりますので定期的に点検、清掃してください。

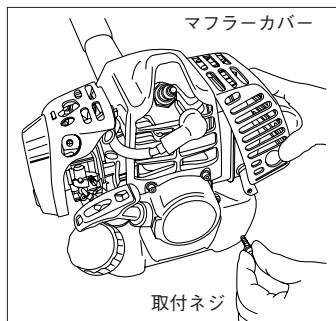
(RA220-Sの場合)

- ① プラグキャップを取り外し、シリンダーカバーのネジを取り外し、シリンダーカバーを取り外してください。
- ② シリンダーフィンやシリンダーカバーなどに付着している草やほこりを取り除いてください。
- ③ 清掃後はシリンダーカバー、高圧コード、リード線、およびプラグキャップを元通りに組み付け、ネジを確実に締め付けてください。(シリンダーカバーを組み付けるときはファンカバーとリコイルケースにきちんとはめてください。)

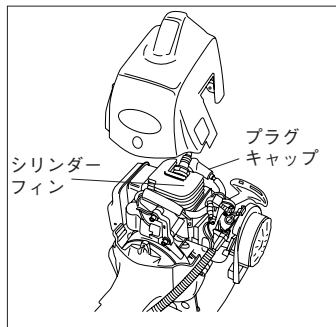


(RA240-S・RA260-Sの場合)

- ① マフラーカバーのネジを取り外し、マフラーカバーの爪部を手で押しながら、マフラーカバーを取り外してください。
- ② エアクリーナカバーを取り外してください。
- ③ プラグキャップを取り外し、シリンダーカバーのネジを取り外し、シリンダーカバーを取り外してください。
- ④ シリンダーフィンやシリンダーカバーなどに付着している草やほこりを取り除いてください。

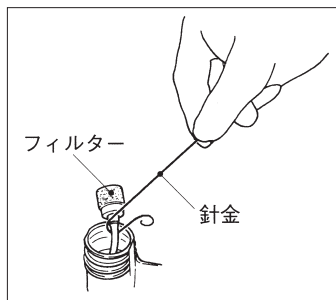


- ⑤清掃後はシリンダーカバー、高圧コード、リード線およびプラグキャップを元通りに組み付け、ネジを確実に締め付けてください。(シリンダーカバーを組み付けるときはファンカバーとリコイルケースにきちんとはめてください。)
- ⑥エアクリーナカバーとマフラーカバーを組み付け、ネジを確実に締め付けてください。



6-6 燃料フィルターの掃除

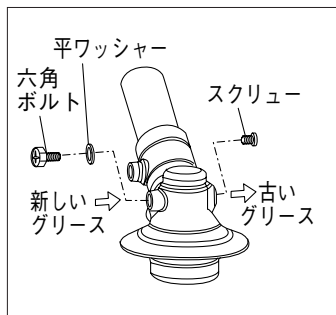
- ①燃料注入口から針金などで燃料フィルターを引き出してください。
- ②先端のフィルターが黒く汚れていれば交換してください。
- ③燃料フィルターを元通りに組み付けてください。
- ④ゴムパイプが折れないようにして、燃料フィルターを燃料注ぎ口から燃料タンク内に戻してください。このとき、燃料フィルターが燃料タンクの底に付いていることを確認してください。



6-7 ギヤケースのグリース補給

(RA220-S・RA240-Sの場合)

- ①ギヤケースの六角ボルト、平ワッシャー、スクリューを外してください。
- ②六角ボルトを外した穴からグリースを補給してください。グリースは新ダイワ純正グリースを使用してください。
- ③古いグリースは新しいグリースに押されてスクリューを外した部分から出てきます。新しいグリースが出てくるまで補給してください。
- ④六角ボルト、平ワッシャー、スクリューを確実に取り付けてください。



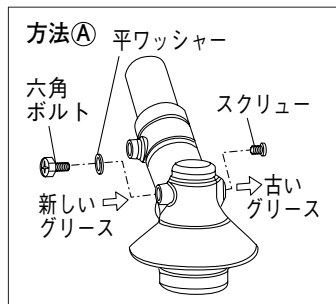
(RA260-Sの場合)

グリース補給には二つの方法があります。

- ・ 刈刃装着時等は方法 **(A)** によりグリース補給してください。
- ・ 刈刃未装着時は方法 **(B)**

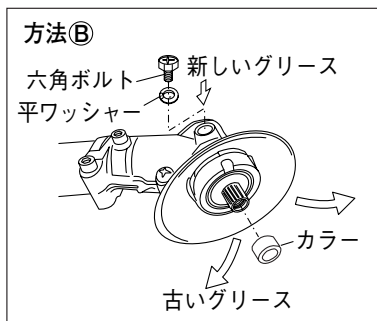
(方法 **(A)**)

- ①ギヤケースの六角ボルト、平ワッシャー、スクリューを外してください。
- ②六角ボルトを外した穴からグリースを補給してください。グリースは新ダイワ純正グリースを使用してください。
- ③古いグリースは新しいグリースに押されてスクリューを外した部分から出てきます。新しいグリースが出てくるまで補給してください。
- ④六角ボルト、平ワッシャー、スクリューを確実に取り付けてください。



(方法 **(B)**)

- ①ボルト、ボルトガード、ホルダー(下)、ホルダー(上)を取り外し、ギヤシャフトのカラーを抜いてください。
- ②ギヤケースの六角ボルト、平ワッシャーを外してください。
- ③六角ボルトを外した穴からグリースを補給してください。グリースは新ダイワ純正グリースを使用してください。
- ④古いグリースは新しいグリースに押されてカラーを抜いた部分から出てきます。新しいグリースが出てくるまで補給してください。
- ⑤カラー、六角ボルト、平ワッシャー、ホルダー(上)、ホルダー(下)、ボルトガード、ボルトを確実に取り付けてください。



▲ 注意

- グリースは50時間毎に補給してください。ギヤケースの破損の原因となります。

6-8 刈刃の目立て

危険

- 刈刃にひび割れ、変形、振れなどの異常がある場合は絶対に使用せず、新品と交換してください。そのまま使用すると刈刃の破損や飛散により、事故やけがの原因となります。

警告

- 作業時間が長引く場合は、予備の刈刃を用意しておき、切れなくなったら交換してください。
- 刈刃の目立て（研磨）は専門技術が必要ですので、自分で目立てをしないで販売店に依頼するか、新品の刈刃を使用してください。

6-9 防振ゴム類の点検

防振ゴム類は製品のご使用前後に摩耗、亀裂、変形がないか点検してください。異常がある場合、または通常より振動が増えたと感じた場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

7. 長期保管

長期間（約60日以上）にわたって本機を使用しないときは、次の手順に従って保管してください。

- ①各部を十分に清掃してください。
- ②点検・整備の項を参考にして点検・整備を行ってください。
- ③燃料タンク内の燃料を全部排出してください。
- ④エンジンを始動し、キャブレター内に残った燃料を使い切ってエンジンが停止するまで低速で運転してください。
- ⑤プラグキャップ、スパークプラグを外し、スパークプラグ穴から少量のオイルをシリンダー内に流し込み、オイルがゆきわたるように2～3回コイルスターターを引いてください。
- ⑥スパークプラグ、プラグキャップを元通りに取り付けてください。
- ⑦クリーナーカバーを取り外して、フィルターを掃除して元通りに取り付けてください。
- ⑧乾燥した火気のない冷暗所に保管してください。

注意

- フューエルタンク、フューエルパイプ、キャブレターの中に燃料が残った状態で長期間保管しないでください。燃料が変質して故障の原因となります。

8. 故障の診断と処置

8-1 エンジンが始動しない場合

区分	原因	処置	参照ページ
エンジンが回転しない	・リコイルスターター不良	販売店で修理	—
	・ピストン焼き付き	販売店で修理	—
圧縮が弱い	・スパークプラグの緩み	締め付ける	37
	・シリンダー、ピストンの磨耗	販売店で修理	—
	・ピストンリングの磨耗	販売店で修理	—
燃料タンクに新しい燃料が入っていますか	・燃料の変質	燃料交換	25
キャブレターに燃料が来ない	・燃料フィルターの目づまり	掃除または交換	39
	・燃料パイプの破損	販売店で修理	—
スパークプラグが発火しない	・マグネトーの故障	販売店で修理	—
	・スイッチ故障	販売店で修理	—
	・スパークプラグが濡れている	スパークプラグを乾燥させ、リコイルスターターを回しシリンダー内の燃料を排出し、再始動	28
	・スパークプラグにカーボンたけ積	掃除	37
	・スパークプラグの電極すきま不良	0.6~0.7mmに調整	37
	・スパークプラグが損傷または種類が違う	新しい指定のスパークプラグに交換	37

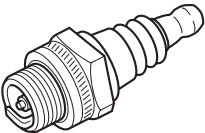
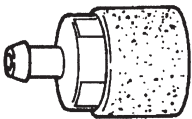

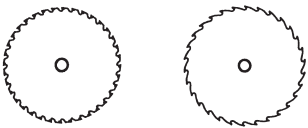
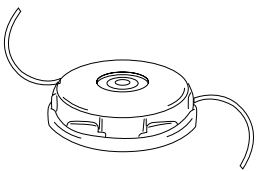
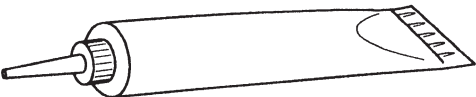
8-2 力がない場合

区分	原因	処置	参照ページ
エンジンの過熱	・ 過負荷使用	回転を必要以上に上げない	—
	・ 燃料が薄い	キャブレターの調整	35
	・ 燃料混合比不良	正しい混合比の燃料を給油する	25
	・ ピストン上部、マフラー内にカーボンたまり	販売店で修理	—
エンジンの回転むら	・ エアフィルターの目づまり	掃除または交換	35
	・ スパークプラグの締め付けがゆるいまたは不良	締め付けるまたは交換	37
	・ 燃料フィルター、パイプの詰まりまたはエア混入	掃除または交換	39
	・ 燃料に水の混入	燃料交換	25
	・ ピストン焼き付き	販売店で修理	—
	・ キャブレター不良	販売店で修理	—

8-3 その他の故障

区分	原因	処置	参照ページ
加速不良	・エアフィルター目づまり	掃除または交換	35
	・燃料フィルター目づまり	掃除または交換	39
	・燃料が薄い	キャブレターの調整	35
	・アイドリング回転速度が低い	3000min ⁻¹ {rpm} に調整	35
運転中にエンジン停止	・燃料の欠乏	燃料給油	25
	・燃料フィルター目づまり	掃除または交換	39
	・燃料に水の混入	燃料交換	25
	・スイッチ故障	販売店で修理	—
	・スパークプラグのカーボンたまりによる短絡	掃除	37
	・プラグキャップの抜け	確実に取り付ける	—
	・マグネトー故障	販売店で修理	—
	・ピストン焼き付き	販売店で修理	—
エンジン停止困難	・スイッチ故障	販売店で修理	—
	・アース線の断線	販売店で修理	—
	・エンジン過熱	アイドリングにして冷却	—
燃料の漏れ	・キャブレターのネジのゆるみ	販売店で修理	—
	・燃料パイプの破損	販売店で修理	—
	・燃料タンクの破損	販売店で修理	—

9. 主な消耗品（お買い上げの販売店にご用命ください）

スパークプラグ	
燃料フィルター	
エアフィルター	
刈刃	 チップソー 篦刈刃
ナイロンカッター	
グリース	

10. 仕様

モデル名	RA220-SU	RA220-S2	RA220-SP	RA220-SG	
エンジン型式名	SA220-S				
エンジン形式	空冷2サイクルエンジン				
排気量 ml{cc}	21.1				
内径×行程 mm	31×28				
点火方式	電子点火				
スパークプラグ	チャンピオンCJ8Y				
気化器	ダイヤフラム式 (WYK)				
エアクリーナー	半湿式、消音型 (防滴型)				
燃料タンク容量 L	0.45				
使用燃料	潤滑油混合ガソリン				
使用潤滑油	2サイクルエンジン専用オイル				
燃料混合比	新ダイワ純正オイル使用時 (JASO性能分類 FC) 50 : 1、 市販オイル使用時 (JASO性能分類 FB・FA) 25 : 1				
始動方式	リコイルスターター (Softスタート)				
ハンドル	・一体非対称 ・分割非対称 両手ハンドル	分割対称 両手ハンドル	プラスチック 片手ハンドル	2グリップ	
停止方式	トリガー レバー	スライド式 停止スイッチ	←	←	—
	固定 レバー	押しボタン式 停止スイッチ	←	←	←
回転方向	上から見て反時計方向				
動力伝達方式	自動遠心クラッチ				
適用刈刃	チップソー、笹刈刃、ナイロンカッター (*1)				
取付穴径 mm	φ25.4				
刈刃外径 mm	φ230				
本体乾燥質量 kg	3.7	3.7	3.5	3.4	
外形寸法 mm	長さ	1765	1765	1765	1765
	幅	540	570	235	220
	高さ	395	380	230	230
周波数加速度実行値の3軸合成値 (m/s ²)	3.2	3.0	4.6	5.9	
振動測定の準拠規格	ISO 22867 : 2004				

- 本体乾燥質量は刈刃、ガード、ストラップを除く。
- 仕様は予告なく変更することがあります。
- (*1) 必ず指定品を使用ください。指定品以外を使用すると故障の原因となる場合があります。

モデル名	RA240-SU	RA240-S2	RA240-SP	RA240-SG	
エンジン型式名	SA240-S				
エンジン形式	空冷2サイクルエンジン				
排気量 ml{cc}	23.9				
内径×行程 mm	33×28				
点火方式	電子点火				
スパークプラグ	チャンピオンCJ8Y				
気化器	ダイヤフラム式 (WYK)				
エアクリーナー	半湿式、消音型 (防滴型)				
燃料タンク容量 L	0.6				
使用燃料	潤滑油混合ガソリン				
使用潤滑油	2サイクルエンジン専用オイル				
燃料混合比	新ダイワ純正オイル使用時 (JASO性能分類 FC) 50:1、 市販オイル使用時 (JASO性能分類 FB・FA) 25:1				
始動方式	リコイルスターター (Softスタート)				
ハンドル	・一体非対称 ・分割非対称 両手ハンドル	分割対称 両手ハンドル	プラスチック 片手ハンドル	2グリップ	
停止方式	トリガー レバー	スライド式 停止スイッチ	←	←	—
	固定 レバー	押しボタン式 停止スイッチ	←	←	←
回転方向	上から見て反時計方向				
動力伝達方式	自動遠心クラッチ				
適用刈刃	チップソー、笹刈刃、ナイロンカッター				
取付穴径 mm	φ25.4				
刈刃外径 mm	φ255				
本体乾燥質量 kg	4.3	4.3	4.0	3.9	
外形寸法 mm	長さ	1765	1765	1765	1765
	幅	540	570	240	225
	高さ	395	380	235	235
周波数加速度実行値の3軸合成値 (m/s ²)	3.4	2.8	5.1	4.4	
振動測定の準拠規格	ISO 22867:2004				

- 本体乾燥質量は刈刃、ガード、ストラップを除く。
- 仕様は予告なく変更することがあります。

モデル名	RA260-SU	RA260-S2	RA260-SP	RA260-SG	
エンジン型式名	SA260-S				
エンジン形式	空冷2サイクルエンジン				
排気量 ml{cc}	25.6				
内径×行程 mm	33×30				
点火方式	電子点火				
スパークプラグ	チャンピオンCJ8Y				
気化器	ダイヤフラム式 (WYK)				
エアクリーナー	半湿式、消音型 (防滴型)				
燃料タンク容量 L	0.6				
使用燃料	潤滑油混合ガソリン				
使用潤滑油	2サイクルエンジン専用オイル				
燃料混合比	新ダイワ純正オイル使用時 (JASO性能分類 FC) 50:1、 市販オイル使用時 (JASO性能分類 FB・FA) 25:1				
始動方式	リコイルスターター (Softスタート)				
ハンドル	・一体非対称 ・分割非対称 両手ハンドル	分割対称 両手ハンドル	プラスチック 片手ハンドル	2 グリップ	
停止方式	トリガー レバー	スライド式 停止スイッチ	←	←	—
	固定 レバー	押しボタン式 停止スイッチ	←	←	←
回転方向	上から見て反時計方向				
動力伝達方式	自動遠心クラッチ				
適用刈刃	チップソー、笹刈刃、ナイロンカッター				
取付穴径 mm	φ25.4				
刈刃外径 mm	φ255				
本体乾燥質量 kg	4.6	4.5	4.3	4.1	
外形寸法 mm	長さ	1775	1775	1775	1775
	幅	540	570	240	225
	高さ	395	380	235	235
周波数加速度実行値の3軸合成値 (m/s ²)	5.6	3.3	4.9	4.8	
振動測定の準拠規格	ISO 22867:2004				

■ 本体乾燥質量は刈刃、ガード、ストラップを除く。

■ 仕様は予告なく変更することがあります。

11. 振動障害の予防

2009年に厚生労働省から振動障害予防対策として、日振動ばく露量を抑制する指針が出されました。指針の内容を理解のうえ、日振動ばく露量の低減に努めてください。

- ・指針詳細は安全衛生情報センターのホームページ (<http://www.jaish.gr.jp/>) の通達一覧から参照ください。
- ・チェンソー以外の振動工具の取扱い業務に係わる振動障害予防対策指針について 平成21年7月10日 基発0710第2号 (<http://www.jaish.gr.jp/anken/hor/hombun/hor1-50/hor1-50-27-1-0.htm>) を参照ください。

11-1 日振動ばく露量 A(8)

○「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」と1日当たりの振動ばく露時間から、次式により日振動ばく露量 A(8)を求めてください。

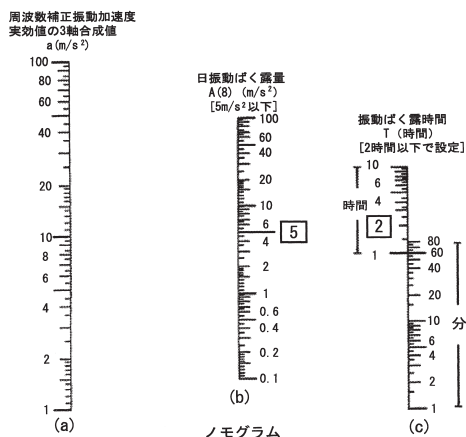
- ・日振動ばく露量A(8)は 5 m/s^2 以下となるように振動ばく露時間(作業時間)Tを設定してください。
- ・1日当たりの振動ばく露時間(作業時間)Tは2時間以下で設定してください。

$$\text{日振動ばく露量： } A(8) = a \times \sqrt{\frac{T}{8}} \quad [\text{m/s}^2]$$

(注) a [m/s^2] : 周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値 (本体表示ラベル又は、49ページの「仕様」参照)

T[時間]: 1日の振動ばく露時間

○日振動ばく露量A(8)は、右記のノモグラムからも求めることができます。このノモグラムの使用方法は、(a)に「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」をプロットし、(c)に「振動ばく露時間」をプロットし、その2つの点を結ぶことにより(b)の「日振動ばく露量A(8)」を求めることができます。



11-2 1日に複数の振動工具を使用する場合

○ 1日に複数の振動工具を使用する時は、下表を利用して個別作業ごとの「振動ばく露量： $A_i(8)$ 」を求め、最終的な「日振動ばく露量： $A(8)$ 」を計算します。

その振動ばく露時間が「日振動ばく露限界値 ($A(8) : 5.0\text{m/s}^2$)」及び「日振動ばく露対策値 ($A(8) : 2.5\text{m/s}^2$)」を越えるかが判断出来ます。

- ・ 1日当たりの振動ばく露時間（作業時間）：T は合計で2時間以内で設定してください。
- ・ 日振動ばく露量 $A(8)$ は： 5m/s^2 以下となるように、各振動工具の振動ばく露時間（作業時間）T を設定してください。

	個別の作業番号 (i)						合計	
	1	2	3	4	5	6		
3軸合成値 $a_i \text{ (m/s}^2\text{)}$								2時間以内 日振動ばく露量 $A(8)$ (m/s^2)
振動ばく露時間 $T_i \text{ (時間)}$								
$A_i(8) = a_i \times \sqrt{\frac{T_i}{8}}$							$\sum A_i(8)^2$	$A(8) = \sqrt{\sum A_i(8)^2}$
$A_i(8)^2$								5m/s^2 以下

1. ノモグラム（50ページの「日振動ばく露量 $A(8)$ 」に記載）に、個別作業の周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値を(a)、振動ばく露時間を(c)にプロットし、2つの点を結んで個別の振動ばく露量(b) $A_i(8)$ を読み取り、上記の表に記入します。個々の作業がいくつもある場合は同様の操作を繰り返し、 $A_i(8)$ を求め上記表に記載します。
2. 個々の作業の $A_i(8)$ の2乗を計算し、全ての作業別の値の合計を求め上記表に記載します。
3. 2. で求めた値の平方根を求め表に記載します。この値が「日振動ばく露量 $A(8)$ 」になります。

※ 上テーブルは、(<http://www.jaish.gr.jp/information/mhlw/nichishindobakuroryo.xls>) を使用して求めることが出来ます。

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-6181

やまびこ北海道株式会社

〒 004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20 Tel 011-891-2249 (代)

やまびこ東北株式会社

〒 984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50 Tel 022-288-0511 (代)

やまびこ東部株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-1091 (代)

やまびこ中部株式会社

〒 452-0031 愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39 Tel 052-502-4111 (代)

やまびこ西部株式会社

〒 701-0221 岡山県岡山市南区藤田566-159 Tel 086-296-5911 (代)

やまびこ九州株式会社

〒 816-0943 福岡県大野城市白木原 5-3-7 Tel 092-573-5361 (代)

やまびこレンテックス株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-6777 (代)

やまびこ産業機械株式会社

〒 731-3167 広島市安佐南区大塚西6丁目2-11 Tel 082-849-2005 (代)

ご用命の際はお願いいただいた販売店へご連絡ください。